

私の地元は岩手県大船渡市です。北は五葉山、東～南は太平洋に面し、とても自然豊かな場所です。皆さんにも、自然が身近に感じる場所と言われて、思い浮かべる風景があるのではないのでしょうか。

では、こんなことを考えたことはありますか？

—今の風景は、どうやってできたのだろうか？

今はネット検索すれば答えが分かります。一方、答えを自分の五感で知ることができる、とっておきの場所があります。それが「ジオパーク」です。

ジオパークは、某テーマパークのような施設ではありません。一言で言えば、五感をフルに使って楽しめる、見どころ満載の「地球の公園」です。

岩手には「三陸ジオパーク」があります。そのエリアは、青森県八戸市から宮城県気仙沼市までの沿岸16市町村と、日本最大です。その広さの分、見どころ（サイト）も多く、岩手県内だけでも何十カ所もあります。サイトは「ジオ（地形・地質）」「自然」「文化」の分野に区分され、中には複数の分野を含むサイトもあります。

私の地元は三陸ジオパークの中にあります。そして、私自身、三陸ジオパーク関連の団体で活動しています。そのため、皆さんに三陸ジオパークに足を運んでもらい、体感してほしい気持ちがあります。

そこで、「仮に」「もし」行くとした場合の、行く場所のヒントを挙げていきます。

ヒントの一つとして、三陸ジオパークの特徴が挙げられます。特徴は大きく五つにまとめられます。

① 5億年の多様な大地

三陸は約5億年前から現世までの岩石・地層をほぼ全て見られる、日本でも貴重な地域です。

② リアスの恵みとテラスの営み

南部のリアス海岸では養殖業、北部の高位段丘では酪農が盛え、多くの特産品が生まれました。

③ オンリーワンの生態系

地質的に特異な早池峰山の他、三陸特有の「やませ」により、他にはない生態系が見られます。

④ 豊かな地下資源

近世では三陸の鉱山資源が日本を支えました。また、三陸産の金が中尊寺金色堂に使用された、とも言われています。

⑤ 大津波の歴史と共生

三陸はこれまで何度となく津波に襲われ、その度復活してきました。その歴史が感じられます。

もう一つのヒントは、「おいしいものが食べたい」「迫力のある景色が見たい」など、自分の興味のあることが挙げられます。そして、次に「どうして？（おいしいのか、このような景色なのか、など）」と考えることです。そのヒントや答えは、ガイドの方や、ジオパーク内に点在する拠点施設の方々が知っています。それを知ると、今まで見えていた風景が少し違ったものを感じるかもしれません。

今すぐは無理ですが、機会があれば、ぜひ三陸ジオパークへ「体感」しに来てほしいです。

〔参考図書：三陸ジオパークガイドブック（三陸ジオパーク推進協議会）〕